



ハノイのホテルで

現地ガイドが「今年
はハノイを首都として
建国されて千年の節目
の年です」と言う。
帰国後、調べてみる
と、ベトナムは紀元前

一〇〇年ころから千年
の間、中国の支配下に
あった。一〇一〇年、
タンロン(現在のハノ
イ)にベトナムのリー
王朝が成立。今年こそ

れからちょうど千年に
なるというのだ。
途中の一四一四年に

再び中国の支配下とな
り、その後、独立を勝
ち取ったのは一四二八
年、中国の明を破って
からだと言われる。
しかし、その後も十



タンロン人形劇の土産用人形

本では考え
られない、
である。日
年前のこと
ずか三十四
は今からわ
独立したの
の侵攻を受
け、完全に
・アメリカ
紀には日本
に、二十世
の侵略を受
け、完全に
独立したの
は今からわ
ずか三十四
年前のこと
である。日

大國に翻弄された歴史
だ。
中でも千年の中国支
配の歴史は今も色濃く
残されている。
その一つ、タンロン
水上人形劇。ハノイ観
光で必ず訪れるところ
だ。千年前のハノイの
地名がついている人形
劇は舞台・演奏・演目
などすべてが中国の農
村風景を彷彿させる。
人形と人形遣いの間
には幕があり、人形遣
いは後ろから水上の人

形を竹と糸で操る。京
劇を連想しながら見た
が、フィナーレで下半
身ずぶぬれの人形遣い
が幕前に現れ、その仕
掛けに驚かされた。
写真のように歩道を
半分占居し、客の希望
の漢字を書く風景にも
中国を感じる。
中国と国境を接する
ベトナム北部、仮に千
年の中国支配がなかつ
たとしても、いろんな
影響を受けたのは当然
かもしれない。

昔ながらの庶民の生
活に触れられるハノイ
旧市街、細い路地が複
雑に入り組んだ観光名
所「ハノイ三十六通
り」。駅を挟んで反対側
の新市街にあるハノイ
ホテルに泊まったが、
そこにも「河内大酒
店」という中国風な別
名がついていた。
島国・日本と違って
陸続きの国々、独立国
家であってもかつての
支配国の文化を色濃く
受け継いでいるのは複
雑な思いがする。
チベットのようになら
ず、独自の文化を
持ちながら
漢民族
の中国に
支配さ
れ、今も
独立が認
められな
い民族も
ある。
ハノイ
から南下
し、ベト
ナム中部
にある世
界遺産の
「ミーソ
ン



あちこちの路上で見かけた

ン遺跡。ここは二世紀
から十七世紀にかけて
栄えたチャンバ王国の
聖地である。ベトナム
に侵略、征服され、今
は遺跡だけが残る。
チャンバの末裔(ま
つえい)は少数民族と
して今もベトナムに住
んでいる。強者が歴史
をつくる。ホテルから
今のはどかなハノイの
景色を眺めながら「民
族と国家」についてい
ろいろと考えさせられ
た。
(元山口放送取締役ラ
ジオ局長)



チャンバ王国のミーソン遺跡